

平成28年度 第2回 役員会議事要旨

日 時 平成28年4月13日(水) 10時30分～11時35分

場 所 学長室

出席者 学長, 滝澤理事, 門出理事, 後藤理事, 和田理事

欠席者 吉田理事

陪席者 佐々木監事, 北村監事

【 協議事項 】

- (1) 平成29年度概算要求事項(施設整備費補助金及び施設費交付事業費)について

学長から, 本件は, 平成29年度概算要求(施設整備費補助金及び施設費交付事業)の事項について協議する案件である旨の説明があった。

次いで, 環境施設部長から, 部局から要求のあった事項に対し, 佐賀大学第3期中期目標・中期計画(案), 次期国立大学法人等施設整備5か年計画, 平成28年度施設整備予算配分実績を踏まえ, 平成28年2月29日の施設マネジメント委員会において審議・選定したこと, 平成28年度施設整備要求事項としては, 施設整備費補助金については, 鍋島の病棟・診療棟改修工事等7件を重点事業とすること, また施設費交付事業費については, 理工学部8号館空調設備改修に絞って要求することとした旨の説明があった。協議の結果了承され, 後日開催の経営協議会及び役員会で審議することとなった。

- (2) その他
特になし。

【 審議事項 】

- (1) キャンパスマスタープラン2016について

学長から, 本件について, 大学の経営戦略やアカデミックプランを施設の側面から支えていくために, 平成23年3月に策定された「佐賀大学キャンパスマスタープラン2010」の改訂を行うものである旨の説明があった。

次いで, 環境施設部長から, メインキャンパスにおける現状及び計画に

ついて説明があり、審議の結果了承された。

学長から、建物の有効利用による外部資金の獲得を積極的に行うため、ゾーニングを検討したか確認があり、環境施設部長から、学外者による施設利用に特化するゾーニングにはしておらず、運用において決定していく旨の説明があった。

門出理事から、財源的な裏付け、国の大学に対する将来的な考え方について確認があり、環境施設部長から、コストの試算について、また、予算を獲得するため、文部科学省と協議していく旨の説明があり、後藤理事から、国の方針により、マスタープランの実現も影響を受ける旨の発言があった。和田理事から、大学自体が組織改革により変動していくため、現在のマスタープランに基づき、計画的に予算要求していくが、随時、バージョンアップや修正が必要となる旨の発言があった。

北村監事から、学内における自転車利用について、検討いただきたい旨の発言があり、後藤理事から、メインストリートを歩行者専用、自転車は押して歩くこととし、外周を自動車（バイク、自転車を含む）道路としている旨の説明があった。北村監事から、自転車は外周道路のみ通行することとし、内部の道路は歩行者専用とすることについて提案があり、後藤理事から、直近の問題として、駐車場及び駐輪場の確保等により解決していく必要がある旨の発言があった。

門出理事から、市道の問題について確認があり、環境施設部長から、佐賀市及び周辺住民と出来るだけ早い段階で協議し、廃止する方向で考えている旨の説明があった。

学長から、学生中心にゾーニングを考えることは良いが、ゾーニングのコンセプトが明確ではなく、教育ゾーン、研究ゾーン、社会貢献ゾーン等の大きな枠組みにおいて、学部の縦割りではない形でゾーニングを検討していただきたい旨の発言があり、環境施設部長から、6年毎に見直しを行うため、その状況を踏まえながら修正していく旨の発言があった。

(2) 新運営体制の発足に伴う学内諸規則等の整備について

学長から、本件について、新運営体制の発足に伴い、学内諸規則等に所要の改正を行い、整備を行うものである旨の説明があった。

次いで、総務課長から、理事（人事・労務・財務担当）の新設に伴い、国立大学法人佐賀大学情報戦略本部規則外3件について改正を行うものである旨の説明があり、審議の結果了承された。

なお、国立大学法人佐賀大学における公正な研究活動の推進に関する規程の改正及び国立大学法人佐賀大学会計監査人候補者選考会議規程外7件に規定されている「財務を担当する理事」とは、理事（人事・労務・財務担当）とし、当該業務を所管することについて、学長から、財務の所掌範囲は広いため、縦割り、一本化せず、「総務を担当する理事」及び「財務

を担当する理事」の二本立てで業務を所管することについて検討いただきたい旨の発言があり、再検討することとなった。

- (3) その他
特になし。

【報告事項】

- (1) 国立大学法人佐賀大学の中期目標を達成するための計画（中期計画）について

企画評価課長から、本件について、文部科学大臣へ認可申請していたものであり、3月31日付けで認可された旨の報告があった。

なお、「戦略性が高く意欲的な目標・計画」の3つのユニットについて、文部科学省からの中期計画の認可通知により、同日付で認定された旨、学内HPにて公開する旨の報告があった。

- (2) 附属病院経営状況について（次回報告）

学長から、本件について、医学部附属病院の都合により、次回の役員会にて附属病院長から説明いただく旨の説明があった。

- (3) 平成27年度就職状況について（平成28年4月1日現在）

就職支援課長から、本件について、昨年度同時期での比較説明があり、学部で0.6ポイント増、大学院で1.2ポイント増、総計0.8ポイント増であった旨の説明があった。

後藤理事から、他大学との比較、地元就職率について確認があり、就職支援課長から、ランキングについては5月1日付最終値にて集計される旨、県内就職率については、現在取りまとめている段階である旨の発言があった。

門出理事から、最終値については、学部・学科・大学院によって母体となる人数が異なるため、未就職者の人数についても記載いただきたい旨の発言があった。

- (4) 平成28年度「研究シーズ」及び「学内研究プロジェクト」について

門出理事から、本件について、平成28年度（最終年度）の学内研究プロジェクト3件及び研究シーズ4件を認定した旨の報告があった。

後藤理事から、概算要求及び外部資金に結び付ける等の成果を上げていただきたい旨の発言があった。

- (5) その他

財務部長から、「平成28年度国立大学法人佐賀大学収入・支出予算」について、機能強化経費等プロジェクト実行経費の配分額について報告があった。

【その他】

特になし。

以 上